

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月21日 (2008.2.21)

【公表番号】特表2007-523971 (P2007-523971A)

【公表日】平成19年8月23日 (2007.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2007-032

【出願番号】特願2006-547542 (P2006-547542)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/38 (2006.01)

C 0 8 F 290/06 (2006.01)

C 0 7 C 271/20 (2006.01)

C 0 7 C 271/28 (2006.01)

C 0 7 C 311/06 (2006.01)

C 0 9 K 3/18 (2006.01)

C 0 9 D 133/14 (2006.01)

C 0 9 D 5/20 (2006.01)

B 0 5 D 5/00 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

D 0 6 M 15/295 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/38 Z

C 0 8 F 290/06

C 0 7 C 271/20 C S P

C 0 7 C 271/28

C 0 7 C 311/06

C 0 9 K 3/18 1 0 3

C 0 9 D 133/14

C 0 9 D 5/20

B 0 5 D 5/00 Z

B 0 5 D 7/24 3 0 2 P

D 0 6 M 15/295

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月26日 (2007.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 次式：

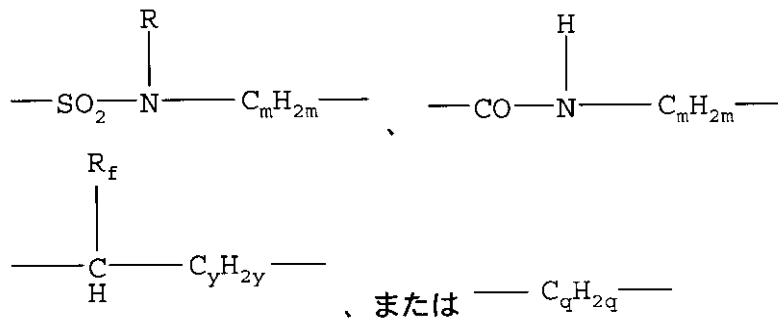
$C_n F_{2n+1} - X - OH$

(式中、

$n = 1 \sim 5$ であり、

$X =$

【化 1】



であり、

R = 水素または炭素原子 1 ~ 4 個のアルキル基であり、

m = 2 ~ 8 であり、

R_f = C_nF_{2n+1} であり、

y = 0 ~ 6 であり、

q = 1 ~ 8 である）

によって表される少なくとも 1 種類のフルオロケミカルアルコール；

(b) 少なくとも 1 種類の非分岐対称ジイソシアネート；

(c) アルキレン部分に炭素原子 2 ~ 約 30 個を有する、少なくとも 1 種類のヒドロキシ末端アルキル（メタ）アクリレートまたは 2 - フルオロアクリレートモノマー；
の反応生成物を含む、フルオロアクリレート。

【請求項 2】

(a) C₄F₉SO₂NCH₃(CH₂)₂OH と、

(b) 4, 4' - ジフェニルメタンジイソシアネートと、

(c) ヒドロキシブチルアクリレートまたはヒドロキシエチルアクリレートと、の反応生成物を含むフルオロアクリレート。

【請求項 3】

以下の一般式：

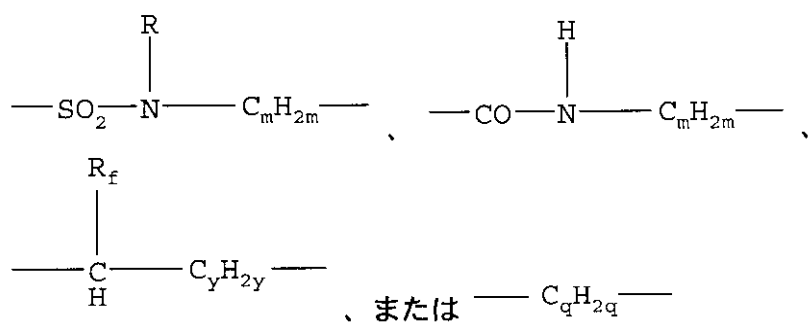


(式中、

n = 1 ~ 5 であり、

X =

【化 3】



であり、

R = H または炭素原子 1 ~ 4 個のアルキル基であり、

m = 2 ~ 8 であり、

$R_f = C_n F_{2n+1}$ であり、

y = 0 ~ 6 であり、

q = 1 ~ 8 であり、

A = 非分岐対称アルキレン基、アリーレン基、またはアラルキレン基であり、

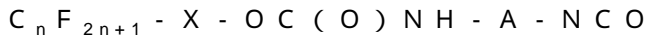
p = 2 ~ 30 であり、

R' = H、CH₃、または F である)

によって表されるフルオロアクリレート。

【請求項 4】

以下の一般式：

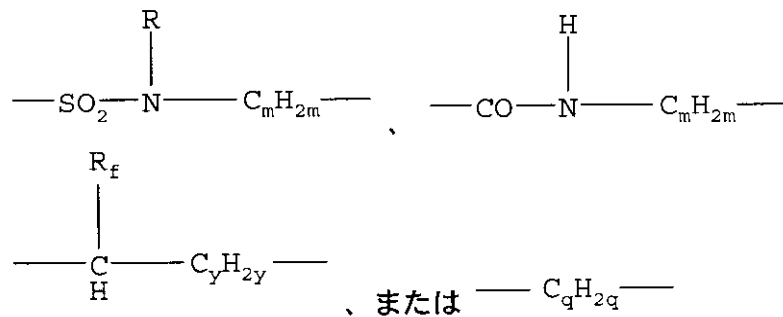


(式中、

n = 1 ~ 5 であり、

X =

【化 7】



であり、

R = H または炭素原子 1 ~ 4 個のアルキル基であり、

m = 2 ~ 8 であり、

$R_f = C_n F_{2n+1}$ であり、

y = 0 ~ 6 であり、

q = 1 ~ 8 であり、

A = 非分岐対称アルキレン基、アリーレン基、またはアラルキレン基である)

によって表される、フッ素化イソシアネート。

【請求項 5】

請求項 1、2、3 または 4 に記載のフルオロアクリレートの反復単位を含む、フッ素化アクリルポリマー。